

道化が語る

ものがたり



Hanpen Bros.

*Bum Bun @
Ayako Mori*



Shotoku Kumagai



Arlequin Voice Theater



2013年10月19日(土)

18:00 開演

2500円

蔵の郷土館 齋理屋敷・新館

企画・制作・問 / 新月兎企画・bunx22@ezweb.ne.jp

090-9632-2956

強力・協力 / 丸森町・蔵の郷土館・齋理屋敷 0224-72-6636

プロフィール

アルルカン・ヴォイス・シアター

歌と語りのドリアン助川と、ギターのパクルス田村による道化師ユニット。レパートリーは幅広く、東北各地の民謡からカンツォーネ、シャンソンまで。今舞台では、映画『じんじん』の原案となった悲恋物語『クロコダイルの恋』を歌劇ヴァージョンでお届けします。

ドリアン助川

1962年生まれ。早稲田大学哲学科卒。バンド「叫ぶ詩人の会」のヴォーカルとして、また深夜ラジオ『ジャンベルジャン』のパーソナリティとして活動した後、3年にわたってニューヨーク在住。2002年に帰国後は、明川哲也の筆名で小説、詩を書き、これまでに33冊を上梓。近著は『あん』（ポプラ社）、『バカボンのパパと読む老子』（角川SSC新書）、絵本『クロコダイルとイルカ』（絵・あべ弘士『じんじん』制作委員会）など。助川氏自身の足で歩き、見聞きしたことがらを類いまれなる身体感覚、柔らかな感性で織りあげてゆく作品は多くの人の心を魅了してやまない。

公式サイト「道化師の唄」<http://www.tetsuya-akikawa.com/>



パクルス田村

1989年生まれ。立教大学出身。独創的なギタリストとして幅広く活躍。

1stアルバム『Rockimo』（i Tune Storeにてダウンロード販売あり）では、彼の繊細なる言葉たちにも出会える。



手描き屋 熊谷祥徳

和みにお絵。石巻市出身。約30年描き続け、作画人数6万人突破。東日本大震災にて被災し、現在は仙台に拠点を移す。各地イベントにて下描きなしで描き上げる静かなる大道芸。誰もが笑顔になる心温まる画風は何年も通い続けるリピーター続出。2012年、ドリアン助川氏が線量計を片手に奥の細道を自転車で辿った紀行途上の出逢いのレポートをきっかけに、全国からも注目が集まっている。

にお絵 お1人 1000円にて承ります 作画時間7～10分

サイトアドレス <http://nigaoetegakiya.shironuri.com/>



半片（はんぺん）ブラザーズ

北海道は紋別小学校よりの幼なじみ「半」こと半谷（はんがい）と「片」こと片岡によるユニット。各々のバンドでの様々な音楽活動を経たのち、2008年、晴れてふたりの音楽のルーツである「半片」での活動を再開。30数年の付き合いからもたらされる絶妙なコンビネーション、そしてユーモアを交えつつもブルースに込められた愛と情熱からなる魂のステージは、忘れかけていた「大切な何か」を心に残してくれる。温かな人柄にじみ出る、熱く、しかし軽やかな彼らの音楽に触れると、ファンにならずにはいられない。 サイト <http://www.han-pen.com/>



ぶんぶん@もりあやこ

生まれも育ちも今も角田市。いつの間にやらタップ・パントマイム・音楽・語りのパフォーマンスの道に入り込む。北は網走、南は久米島、西はタイ国、東はアメリカ、思いを受けとりたい届けたい、生き物と仲良くしたい一心で、面白そうなことができるならば、どこへでもびよんとひとつとび。今回はパントマイム小品を上演させていただきます。湯水のようにあふれる思い&与太話は 新月兎企画（しんげつうさぎきかく）<http://shingetsu-usagi.com/> Facebookにて、だだ漏らし中



企画・制作／新月兎企画

制作協力／齋理屋敷・おおつきけいこ

音響／キーウィサウンドワークス・本儀拓 <http://www.kiwisoundworks.com/>



【仙台から】

- 電車約1時間
仙台駅よりJR東北本線 槻木駅のりかえ
阿武隈急行 丸森駅下車
- お車で約1時間30分
仙台より国道4号 槻木より国道349号利用

【福島から】

- 電車約50分
福島駅より阿武隈急行 丸森駅下車
- お車で約1時間
福島より国道349号利用